

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】T-76

申請日 2025/6/16	承認日 2025/8/22	委員長 印
レジメン登録 2025/8/27	仮承認日	承認者 印

Ami + Lazer 1コース目	病名	非小細胞肺癌	呼吸器内科	医師名 Dr
対象	EGFR遺伝子変異陽性進行・再発の非小細胞・非扁平上皮癌(2次治療以降)またはEGFR遺伝子エクソン20挿入変異陽性の非小細胞・非扁平上皮癌			

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 div. iv. po等	投与スケジュール (日)								
			1	5	8	10	15	20	22	29	
アミバンタマブ(ライブリバント)	*	div	○	○		○		○		○	
ラゼルチニブ(ラズクリーズ)	240mg/Body	PO	○	○	○	○	○	○	○	○	
投与間隔・休薬期間等 : 28日 = 1コース ← 1コースまで → 1コース											
*体重によりアミバンタマブの投与量と点滴速度が異なるので注意 終了後、【T-77】Ami + Lazer 2コース目以降に移行すること											

【投与処方例（前投薬など）】

Day1. 2. 8. 15. 22

レスタミンコーワ錠10mg 5錠
カロナール500mg 2錠

]/po.ライブリバント投与30分前

Day1

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL / div

- ② メイン【赤-1】 生理食塩液100mL+デキサート注9.9mg /div 30分
- ③ 【コネクタ1】 ファモチジン注20mg 1A /iv 5分
- ④ メイン【赤-2】 生理食塩液250mL+ライブリバント350mg /div 50mL/hr→2時間後に75mL/hr
終了後、メインキープの生理食塩液をすべて投与する

Day2. 8. 15. 22

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤-1】 生理食塩液100mL+デキサート注9.9mg /div 30分
- ③ 【コネクタ1】 ファモチジン注20mg 1A /iv 5分
- ④ メイン【赤-2】 生理食塩液250mL+ライブリバント* /div
終了後、メインキープの生理食塩液をすべて投与する

【投与にあたって】

1コース目Day1. 2は必ず入院で行うこと
Day15以降は、中心静脈からの投与も可能

【点滴速度】

Infusion reactionが認められない場合に投与開始2時間後に投与速度をあげることができる

体重80kg未満	1コース目Day1 投与量350mg : 開始時50mL/hr→2時間後75mL/hr
	1コース目Day2 投与量700mg : 開始時50mL/hr→2時間後75mL/hr
	1コース目Day8 投与量1050mg : 85mL/hr
	1コース目Day15 投与量1050mg : 125mL/hr
	1コース目Day22 投与量1050mg : 125mL/hr

体重80kg以上	1コース目Day1 投与量350mg：開始時50mL/hr→2時間後75mL/hr
	1コース目Day2 投与量1050mg：開始時35mL/hr→2時間後50mL/hr
	1コース目Day8 投与量1400mg：65mL/hr
	1コース目Day15 投与量1400mg：85mL/hr
	1コース目Day22 投与量1400mg：125mL/hr

Infusion reactionがおきた場合、本剤を中断し、主治医に電話を行う。

Garde1.2で治療対応し回復した場合、Infusion reaction発現時の半分の速度で本剤を再開すること。

30分後にInfusion reactionの症状が認められない場合、中断時の速度まであげることができる。

その2時間後にInfusion reactionの症状が認められない場合、同日に予定されていた最高投与速度まであげることができる。

【副作用によるAmivantamabの減量基準】

副作用発現時投与量 1050mg→1段階減量:700mg→2段階減量:350mg

1400mg→1段階減量:1050mg→2段階減量:700mg

3段階減量は中止

【副作用によるLazertinibの減量基準】

初回投与量240mg/日→1段階減量:160mg/日→2段階減量:80mg/日

3段階減量は中止

【検査等確認事項】

心臓等に及ぼす影響 本レジメン開始前に心エコー・心電図検査・凝固検査を実施

DVT、PTEがないか評価を行う
血圧、心臓、血栓に影響を及ぼす薬剤の確認

【注意すること】

静脈血栓症の発症抑制のために、治療開始後4ヶ月以内はエリキュース1回2.5mg 1日2回内服を行う
また、すでに静脈血栓症などがある患者は、エリキュースやDOACの内服を行う
皮膚障害予防として、「EGFR阻害薬の予防セット」を使用する
予防抗菌薬はドキシサイクリンを推奨
また、既存で白癬菌などがないか確認を行うこと

制吐剤セット処方19 2重抗体薬の副作用予防
ライブリバント投与30分前に内服
レスタミンコーワ錠10mg 5錠
カロナール500mg 2錠

参考文献：ライブリバント・ラズクルーズ併用適正ガイド